



## 岐阜市の豚コレラ(CSF)は全ての制限が解除されました ～いのししは引き続き警戒～

9/9 に発生した岐阜市の豚コレラは、その後の続発はなく、残っていた移動制限区域は 10/10 午前 0 時に解除され、消毒ポイントも閉鎖されました。これで今回の豚コレラ発生に伴う全ての制限が解除され、豚については家畜伝染病予防法に基づく措置は完了しました。

一方、野生いのししからの CSF ウイルス検出は続いており、岐阜県では 10/14 までに 26 頭(検査:163 頭)から検出されています。主に発生農場及び共同堆肥場周囲半径 10km の区域でしたが、10/12 に初めて区域外で 1 頭陽性が確認されました。愛知県境に近いこともあり拡散が懸念されます。岐阜県では引き続き監視・調査・検査が行われます。

岐阜県以外では、10/15 午前 9 時時点で 30 県(本県含む)76 頭の死亡野生いのしし検査が行われ、全て陰性でした。が、岐阜県の状況を見ると警戒が必要と思われます。

下記を参考に野生いのしし侵入防止対策をお願いします。

## 野生いのしし侵入防止対策のポイント

～農水省資料抜粋～

### いのししを農場に 近寄せない

- 誘引防止
  - ・農場周囲に農作物の収穫残渣や廃棄果樹等を放置しない
- 茂みをつくらない
  - ・不要な木の伐採、枝の除去
  - ・定期的な草刈り
- 痕跡を確認する
  - ・農場周囲に足跡や糞などがいないか確認する

### いのししを 農場内に入れない

- 侵入防止
  - ・農場周囲は柵、電柵、フェンス等で囲う(二重にすると更に効果的)
  - ・農場周囲に消石灰を散布
- 目隠し
  - ・飼料はタンク、コンテナ等で密閉して保管
  - ・紙袋飼料は口を閉じて適切に保管
  - ・たい肥置場は、ネット、シートで覆う
  - ・死体はコンテナに保管又はシートで覆う
- 場内の整頓
  - ・農場敷地の整頓、隠れ場所を作らない

### いのししと 豚を接触させない

- 接触防止
  - ・畜舎の戸を閉める
  - ・畜舎の隙間や窓に金網・ネットを設置する
  - ・壁や網等の破損は修繕する
  - ・飼料残さは放置しないで掃除する
  - ・貯水槽は蓋、井戸水・山水の塩素消毒
- 日常的な衛生管理
  - ・衛生管理区域内に入る人、車両の洗浄消毒
  - ・畜舎ごと専用衣服、靴を用意

<ポイント>

①隠れ場所の除去！

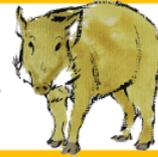
→農場内、農場周辺の草刈り等を行い、いのしが身を潜めることができる空間をつくらないようにしましょう！

なぜなら…

<いのししの特徴>

○警戒心が強い！

→隠れ場所があると、いのししは安心して寄ってきます。  
(農場周辺の草が伸びた場所、耕作放棄地など)



<ポイント>

②いのししから畜舎内（豚やエサ等）が見えないようにする！＝目隠し効果！

→確実に扉を閉める  
排泄物・エサ・死体保管場所等の周囲にトナ柵を張る、ブルーシートで覆うなど

③給餌エサの放置をしない！こぼれたエサも掃除する！

なぜなら…

<いのししの特徴>

○雑食性

→植物や根菜、昆虫、農作物、家畜のエサなど何でも食べる！

○環境把握能力が抜群！

→嗅覚・視覚をフル活用して、エサを探して歩き回る

→エサがこぼれた場所は魅力的…

多少の柵があっても突破する努力をします！

<ポイント>

④侵入防止対策の継続！

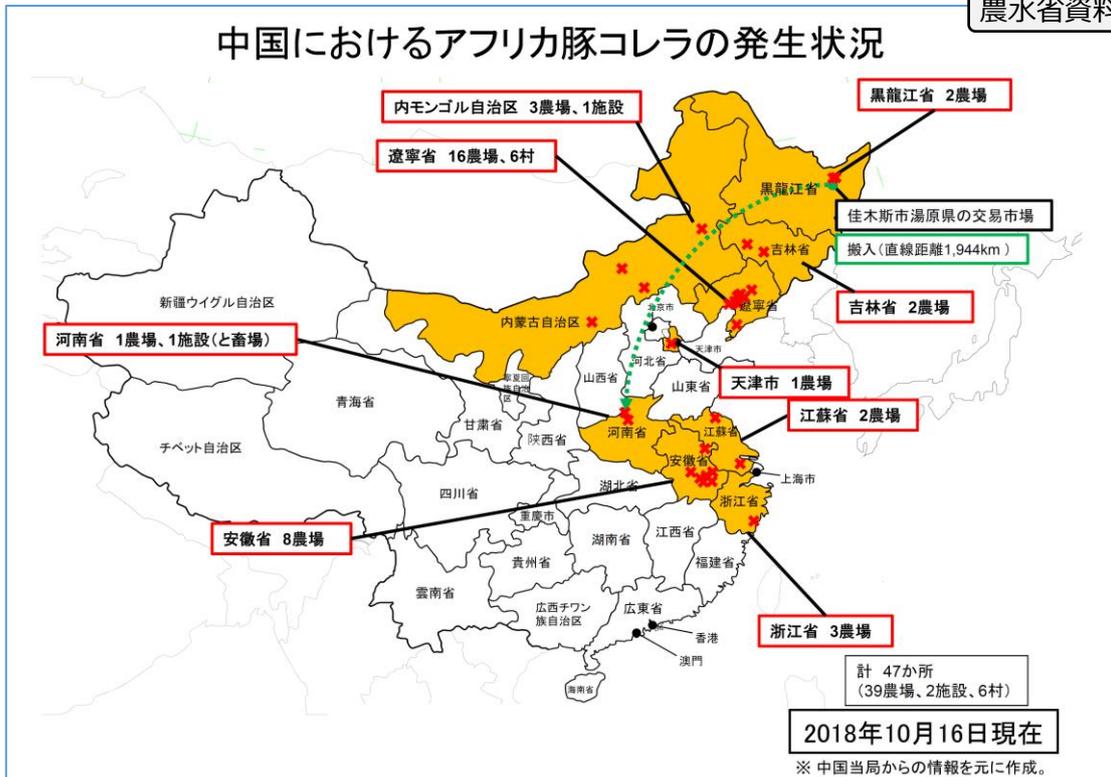
→農場、畜舎、排泄物・エサ・死体保管場所等の周囲に、電気柵やトナ柵、ネット・フェンス等の柵を設置する※。毎日確認を行い、隙間の有無※※や電気柵下の草の伸び具合を確認する。また、消石灰を敷地内に散布し、消毒を行う。※※20cmの隙間でも、イノシシはくぐります！！

中国のアフリカ豚コレラ(ASF)発生は止まらない……

中国での ASF の発生はおさまらず、1市7省1区47カ所に上っています。欧州、ロシアでの発生も続いています。こちらも引き続き警戒し、侵入防止対策をお願いします。

農水省資料

中国におけるアフリカ豚コレラの発生状況



異常を発見したら 0267-62-4123 へ連絡を！(夜間・休日も対応しています)